

第18期第3四半期業績のご報告 (平成26年1月1日～平成26年3月31日)

平成26年 5月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第三四半期におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等もあり、個人消費は順調に推移致しました。また、企業の設備投資も増加を続けるなど、景気は順調に回復基調となっております。

駐車場業界におきましては、2月に首都圏を中心として発生した記録的な大雪による道路交通量の減少に伴い、事業環境は一時的に悪化致しました。

このような環境のもと、当社では、駐車場の新規開発及び駐車場の需給バランスを考慮した料金設定を継続的に実施し、CPシステム運営事業では、売上高 633,623 千円(前年同期比 99%)の結果となりました。

CPシステム販売事業では、時間貸し駐車場運営会社の開発計画が増加傾向で継続していること及びメンテナンス契約の新規獲得に注力致しました。その結果、売上高 1,033,344 千円(前年同期比 194%)と大幅に伸長致しました。

プロパティマネジメント事業では、キャッシュフロー経営を重視し、収益性の低い物件を売却致しました。その結果、売上高 65,221 千円(前年同期比 90%)となりました。

その結果、当四半期に於ける売上高は 1,733,306 千円(前年同期比 129%)と堅調に推移致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	633,623 千円	99%
CPシステム販売管理事業	1,033,344 千円	194%
プロパティマネジメント事業	65,221 千円	90%
その他	1,117 千円	1,139%
計	1,733,306 千円	129%